

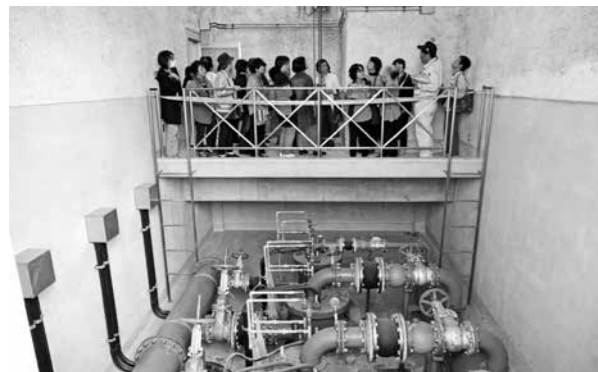


大切な資源を守るために

菊陽町地域婦人会施設見学研修会

菊陽町地域婦人会による施設見学研修が10月11日、大津菊陽水道企業団の大堀木水源・配水池で行われました。

会員22人が参加し、地下水涵養システムや災害に強い水道をつくるための取り組みなどについて学びました。参加者からは「菊陽町の水道は全て地下水が供給されていて、安心安全な水が利用できることのがたみを感じました。大切な資源として環境保全にも目を向けていきます」との感想がありました。



水道企業団職員の説明を受ける会員の皆さん

水資源の保全活動に尽力

富士フィルム九州㈱が水資源功績者表彰受賞

富士フィルム九州㈱が、国土交通省が選考する水資源功績者表彰を受賞しました。この賞は、水資源の開発、利用、保全に永続的に尽力し、特に顕著な功績があった個人や団体を表彰するものです。

同社は、雨水の再利用による地下水使用量の削減などに取り組むとともに、広葉樹1万3千本以上の植林(涵養林の育成)や、「水田お助け隊」(水源涵養事業)を行うなど、地下水資源や水源地の保全に貢献しています。



後藤町長に受賞を報告した白石進総務部長(中央)

熱戦繰り広げた

第58回協会長旗争奪軟式野球ナイター大会

第58回協会長旗争奪軟式野球ナイター大会が10月9日～11日、町民総合運動場で開催されました。

今回で58回目となるこの大会には、6チームが参加し、熱戦を繰り広げました。決勝戦では「ダンディーズ」が「菊陽町役場」を破り、見事優勝しました。

大会の結果は次のとおりです。

優勝 ダンディーズ
準優勝 菊陽町役場



優勝したダンディーズの皆さん

より安全で美しく

菊陽町建設業協会伐採ボランティア

菊陽町建設業協会の伐採ボランティアが8月8日、ひばりヶ丘区で行われました。参加したのは、町内で建設業を営んでいる13社。道路の景観美化と交通安全の確保のために例年実施しており、今年は町道ひばりヶ丘宮ノ上線にかかる竹の伐採を行いました。

今回実施したのは以前から強風や大雨時の倒竹が多かった場所で、近くに住民は「今年の台風はボランティアのおかげで竹による被害が少なかったのととても助かりました」と話しました。



伸びた竹の伐採風景

町道の美化を目指して

菊陽町造園業協会除草ボランティア

菊陽町造園業協会の除草ボランティアが10月20日、上津久礼区で行われました。

参加したのは、町内で造園業を営んでいる6社。道路の景観美化のために毎年実施しており、今回は高校駅伝のコースになっている町道川久保下津久礼線を実施しました。

会長の鹿子木進也さん(入道水)は「環境美化のために毎年実施しており、今後も継続的な活動を通じて貢献していきたい」と話しました。



菊陽町造園業協会の皆さん

地域を美しい環境に

シルバー人材センター会員が清掃活動

菊陽町シルバー人材センター会員と職員約100人が10月20日、役場周辺道路などで清掃活動を行いました。これはシルバー事業の社会的意義を宣伝・周知し、町に貢献するために年2回実施している活動です。

今回は、公共施設周辺道路と中学校通学路のごみ拾いや除草・プール周りのせん定を実施。参加した会員の一人は「すがすがしい秋空の下で良いボランティア清掃ができました。また参加したいです」と笑顔で話しました。



環境美化のために爽やかな汗を流しました

240人が白熱!

第6回菊陽町子ども会ドッジビー大会

第6回菊陽町子ども会ドッジビー大会が10月21日、菊陽町民体育館で開催されました。ドッジビーとは、柔らかいフリスビーのようなディスクを使ったドッジボール形式のスポーツです。

今大会はJ A菊池菊陽中央支所から協賛を受けてAパート(低学年)7チーム、Bパート(全学年)15チームの総勢240人が出場し、熱戦を繰り広げました。どのチームも一丸となって練習の成果を十二分に発揮し、訪れた多くの保護者からも盛んな声援が送られました。大会の結果は、次のとおりです。

【Aパート(低学年)】
優勝 大堀木Aチーム
準優勝 緑ヶ丘A
第3位 下原ドリーム
【Bパート(全学年)】
優勝 下原ブルーム
準優勝 Green's A 高学年(緑陽台)
第3位 緑ヶ丘B



Aパート優勝「大堀木Aチーム」



Bパート優勝「下原ブルーム」



人権尊重社会の実現に向けて

熊本ヴォルターズ「ふれあい人権教室」

プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」による「ふれあい人権教室」が11月15日、菊陽中学校で開催されました。

この教室は、外国人の人権や多文化共生に関する人権啓発活動の一環。南アフリカ共和国出身のチリジ・ネパウ工選手が講師となり、日本人や他の外国人選手とのコミュニケーションにおいて大切にしていることなどを話しました。生徒たちはチリジ選手の話に真剣に耳を傾け、多文化共生への理解を深めました。



生徒たちに自身のことを話すチリジ選手

長年の功績をたたえて

平成30年度社会教育功労者表彰

平成30年度社会教育功労者表彰式が11月2日、日本青年館で行われ、内田早苗さん(緑ヶ丘)が文部科学大臣から表彰されました。

内田さんは各センターの講師や社会教育指導員などのさまざまな役職を兼任し、長年地域の社会教育活動に携わっています。内田さんは「地域の皆さんをはじめ、社会教育に関わっている皆さんのおかげで受賞することができました。今後も皆さんと一緒に子どもたちの成長のために頑張ります」と話しました。



受賞を報告する内田さん(左から2人目)

ハッピーハロウィーン

お化けに変身して役場を訪問

町立保育所さくら園の子どもたちが10月31日、お化けの仮装をして役場を訪れました。

衣装は、カボチャや猫のお化けをモチーフにした手作りのもの。子どもたちは「トリックオアトリート(お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ)」と元気いっぱいアピールしました。

その後、職員からお菓子を渡されると子どもたちは大喜び。自分たちで作ったお菓子入れにしまっ、笑顔で見せ合っていました。



仮装したさくら園の子どもたち

地区と学生の縁

第37回鉄砲小路生垣剪定作業

東海大学農学部「緑の会」の学生25人と長野野也教授が10月28日、鉄砲小路区の生垣約4^キを剪定し、地域住民と交流しました。

緑の会は同大学の故戸田義宏教授を中心に生垣保存の重要性を伝えるために結成され、昭和57年から学生有志が剪定作業を毎年続けています。

参加した学生からは「将来造園業に就きたいと考えているのでとてもいい経験になった」「地域の皆さんと交流ができて楽しかった」との感想がありました。



区民から指導を受けて作業を行う学生

読書感想画の特選作品が決定

第29回菊陽町読書感想画コンクール

菊陽町読書感想画コンクールも29回目を迎え、今年度は約4,300点の作品の中から、審査の結果、30点の特選作品が選ばれました。作品は町内の小・中学校8校の児童・生徒が夏休みの課題や授業で制作。本の世界から得た感動を生き生きと表現していました。

受賞作品は12月5日(水)～17日(月)の間、菊陽町図書館ロビーに展示しますので、ぜひご覧ください。



町 依伶(菊陽西小4年)
書名「あたまにかきの木」
絵の題名「かきの木、切るぞ!」



井本 悠惺(武蔵ヶ丘中1年)
書名「スタンドバイミー」
絵の題名「冒険」

○受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	高木 結心	菊陽南小学校	小4	園田 咲彩	菊陽西小学校	中1	内賀崎ひなの	菊陽中学校
	笹川 芽泉	菊陽西小学校		霧田 玲七	菊陽西小学校		井本 悠惺	武蔵ヶ丘中学校
	吉野 咲	菊陽西小学校		中川内倉空斗	菊陽西小学校		榎本 遥	武蔵ヶ丘中学校
小2	井上 結衣	菊陽中部小学校	小5	町 依伶	菊陽西小学校	中2	清永こはる	菊陽中学校
	本崎 正人	菊陽南小学校		工藤 肇々	菊陽中部小学校		下村 芭瑠	菊陽中学校
	工藤 壮梧	菊陽西小学校		宮内 有菜	菊陽北小学校		野田 健心	菊陽中学校
小3	大坪 大賀	武蔵ヶ丘北小学校	小6	浦地 未田	菊陽西小学校	中3	二木 美咲	武蔵ヶ丘中学校
	中島 翼	菊陽中部小学校		三嶋 遥斗	菊陽中部小学校		友井 肇音	菊陽中学校
	橋本和佳奈	菊陽中部小学校		丸山 瑠希	武蔵ヶ丘小学校		古庄 結莉	菊陽中学校
	大田黒菜音	菊陽西小学校		井村 友香	菊陽西小学校		石坂 遥	武蔵ヶ丘中学校

菊陽町の農業者が二部門優勝

第41回熊本県畜産共進会

第41回熊本県畜産共進会が熊本県家畜市場などで開催されました。10月19日に牛肉の共進会、11月3日に県内の畜産農業者による育成牛や飼料の共進会や牛肉消費拡大キャンペーンの一環として、牛もも肉丸焼きのふるまいなどが行われました。

その中で、那須彰一さん(鉄砲小路)が牛肉部門で、赤塚祥太さん(馬場)が飼料部門で勝ち抜き、栄誉ある農林水産大臣賞を受賞しました。受賞した二人は「今後も高品質の牛を作りたい」と話しました。



他の部門でも受賞できるよう頑張ります

姉妹都市との親睦深めた

屋久島町地域女性団体連絡協議会と町婦人会が交流

屋久島町地域女性団体連絡協議会との活動報告・交流会が11月1日・2日に開催されました。

屋久島町からは10人が参加し、1日は町の大型商業施設と大塚牧場を見学。その後、町図書館視聴覚室で両町の活動報告や意見交換を行ないました。見学の後は交流会が行われ、両町の親睦を深める楽しいひと時となりました。

2日は(株)熊本玄米研究所を見学し、屋久島の参加者と一緒に米について理解を深めました。



大塚牧場にて両町の会員で記念撮影